

目的：自分の生涯を見通した生活設計を立てる力を養う。

方法：パソコンのインターネット上のe-ライフプランニングを利用し、グループワークにより共に学び理解を深める。

1. 生活設計とは、

「生活をめぐる環境条件を考慮しながら、生活を総合的に系統的に形成していくというシステムの手法を適用し、それぞれの目標実現のために最適の方法を選び求めていく知的作業の過程」（今井光映）

重要ポイント→長期・中期・短期的ライフイベントを検討すること。

2. 生活設計を構成する3つの要素

① ライフデザイン・・・就職・結婚・離婚・出産・住宅取得など

ライフコースのどの段階に位置づくかを検討

② 生活資源のマネジメント・・・金銭・モノ・時間・人間関係など

どの時期にどのように活用し、生かしていくかを検討

③ リスクマネジメント・・・ライフコースに起こりうると想定されるリスク（問題）など

対処法とそのための準備の検討

3. グループワーク・・・e-ライフプランニングより（この授業の最後に各班の結果の発表報告会あり）

<手順>

①パソコンを各班1台準備する。

②インターネットから、「生命保険文化センター e-ライフプランニング」を検索する。

③「e-ライフプランニングのご利用はこちら」をクリック

④「はじめての方はこちらから」をクリック

⑤「確認しました」をクリック

⑥右上のスタートボタンをクリック（画面の①ライフプランを作りましょうを読んでから）

⑦基本情報を入力する

あなた 1993年1月1日生 男 配偶者いない 家計主 子どもいない

⑧「ライフプランを作る」をクリック

⑨「収入・資産」をクリック

*「あなた」と「配偶者」の働き方を選ぶ（班員で相談して決定）空欄に記入のこと

	あなた（男）	「働き方による収入」について自分や班員で考えたことや感想などを記入
働き方		
入社年齢	歳	
税込み年収	万円	
手取り年収	万円	
退職年齢	歳	
退職金	万円	

⑩「支出」をクリック

*「住宅費」 持ち家（ローンあり／なし）・賃貸 を選び○をつける（班員で相談して決定）

費目	1年間に必要な金額	「1年間に必要な金額」を知り、自分や班員で考えたことや感想などを記入
住居費	万円／年	
生活費	万円／年	
教育関係費	万円／年	
保険料	万円／年	

現在（昨年度末時点）の預貯金、有価証券、投資信託など（ ）万円

・結婚・独身生活の利点／平均初婚年齢／結婚費用／親の援助／結婚後の働き方 をクリックし、班員でデーターを共有する

結婚予定年齢・配偶者・働き方などを班員で相談して決定し、データーを入力

配偶者（ ）歳 働き方（ ） 手取り年収（ ）万円

結婚を（ ）歳にしたのは、（ ）からです。また、結婚にかかる諸費用は、（ ）のため、（ ）万円にしました。配偶者の働き方を（ ）にしたのは、（ ）からです。

⑬「子どもの進学」をクリック 空欄に教育費の金額を書き入れて理解を深めよう。進学予定を選ぶ（班員で相談して決定）

＜子どもの教育費について自分や班員で考えたことや感想などを記入＞

購入年齢	歳	購入価格	万円	頭金	万円
住宅ローン返済期間	年	住宅ローン金利（固定）	%	年間返済額	万円／年

⑬「収入支出グラフ 10年」をクリック

*何歳の時に収支差額が赤字 (オレンジ)

() 歳 (▲) 円 理由 ()

*今回のライフプランの結果より、どんなことを見直すべきですか？（見直しのヒントより）

--

・ 班で協力して取り組んだか・・・(A ・ B ・ C)

＜感想・考察＞